

タイトル:「きれいきれいするね」	2歳児	写真部門
------------------	-----	------



前日、パーマ屋さんに行き、カットしてもらってきたA児。手洗い場に椅子を持ってきて、B児に「ここ座って。きれいきれいするね」とB児を座らせました。「ちょっと待っててや」とバンダナを持ってきて、B児の首元につけ、更におもちゃのトングを持ってきて、ヘアアイロン風に、髪の毛をはさみ美容院遊びが始まりました。2歳児のつもり遊びの再現度がリアルでとっても可愛い場面でした。

タイトル:初めての外遊び	0歳児	写真部門
--------------	-----	------

「はじめまして!」4月から入園した0歳児。まだ歩くことも座ることもできない時ですが、春の風にあたって、外の雰囲気を楽しむために散歩カーで乳児園庭へ出発。この写真は担任を見上げていますが、散歩カーの網目から外の景色を眺めて楽しんでいます。まだまだ園生活に慣れてなくて泣いていることも多いですが、外に出るとご機嫌な子どもたちです。



外の風が気持ちいいな!

外に出るのは大好き!

タイトル:生き物が身近にいる生活

3歳児

写真部門



春は散歩先でたくさんのダンゴムシを見つけ、みんなで土や葉っぱや石も一緒に持って帰り、ダンゴムシのおうちを作りました。毎日観察し、みなでお世話もしました。ダンゴムシが食べたあとのレース状になった葉っぱを見つけて「ダンゴムシがたべたはっぱや!!」と何とも嬉しそうで得意そうな顔。初めは「こわい〜」と言っていた子どもたちも“ちょっと触ってみよう”から始まり、今では自分の手の平や腕や足の上に乗せてお散歩(?)させるまでになっています。

夏は、4歳児クラスで幼虫から育てたカブトムシがたくさんいて、3歳児クラスにもおすそわけしてもらいました。これも初めは怖くて触れなかった子どもたちですが、今では上手につかめるようになり、ゼリーをあげたり、木の棒を歩かせてみたりと毎日たくさん触れてきました。

こんな風実際に、ダンゴムシを身体に歩かせるこそばいこと、カブトムシは足がトゲトゲで痛いことなどを感じ、製作にもつなげていきました。それぞれ味のあるダンゴムシや、カブトムシができ、季節ごとに生き物いっぱいのお部屋になっています。

タイトル:お兄ちゃんやからな

3歳児

写真部門



異年齢の交流が進むにつれ、他クラスの子どもの様子に目が向くようになってきた。お楽しみ会当日、ランチホールで一緒に給食を食べた。食べながらも、自分より小さい組の子どもたちが気になるようで、食べ終わると一足早く保育室に帰っていったひよこ組(0歳児)さんの机を見て、自分たちが片づけてあげる!と、イスや落ちていた食材をほうきとちりとりで片づけはじめた。その時、子どもたちから出た言葉は、「お兄ちゃんやからな♡」思わずほっこりしたひと時だった。

タイトル：“おととと〜”

1歳児

写真部門



室内で井形ブロックで遊んでいるときに…

これに乗ってみよう!

乗れた!次は歩けるかな?

足の指にぎゅっ!と力を入れて、全身でバランスをとって一生懸命に歩こうとしています。

つい「ブロックは乗ったらあかんよ」と声をかけてしまいがちですが…
“なるほどその発想素敵!”そして一生懸命やってみようとしている姿に
「それいいね!」「おお!歩けた。すごい!」と声をかけました。

ぼくもやってみたい。
「せんせい!(乗れたよ)」

これって『ぽっくり遊び』につながりそう!と思い、ひと工夫。
すずらんテープで持ち手を付けてみました。

やってみる友だちの姿をみて「ぼくもするー!」とチャレンジする姿
があちらこちらで見られました。



タイトル:♪ちきちんこんこん(だんじりの鐘の音)

3歳児

写真部門



曲がるよー!

地元の秋祭りを経験し、お父さんたちが本物のだんじりを引っ張っていたのを見て、ぼくたちも引っ張りたい!と、だんじりを作った子どもたち。

ヒモを引っ張る子ども、後ろから押す子ども…その思いが上手く噛み合わず、廊下を練り歩いているとカーブのところで倒れてしまいました。「どうしたら倒れずに引っ張れるかな?」とみんなで考え、後ろの人が「曲がるよ」と声をかけることに…

声をかけることで、前でヒモを引っ張っている子どももゆっくり進むことができ、乳児クラスのみannaにも見てもらうことができ、「ちきちんこんこん♪」と廊下にみんなの音が響きました。

タイトル:「Sちゃん、かんぱい言ったよー!」

1歳児

写真部門

『独り言を大きな声で』作戦!

新年度がスタートした春。子ども一人ひとりのことを担任全員で共有したいけれど…改めて3人で机を囲んでじっくり話をする時間につくれない。

そんなときにこの作戦をやり始めてみました。

子どもの姿やかわいいつぶやき、おもしろい遊びや小さな成長など、その場面でリアルタイムに「あけてって言った、すごーい!」と大きめの声で言って担任全員で共有していました。

秋ごろ、おやつ時間に…

「せんせい!
Sちゃん、かんぱい言ったよ!」

保育者と同じようにTくんが、Sちゃんの成長に気づいて保育者や周りの友だちに教えてくれたのです!

これには私たちも感動でした♡

そして、このTくんの姿から『これからももっと一人ひとりの素敵どころ探しをしていきたいな』と改めて思えました。

「かんぱーい(しょう♡)」



タイトル:3人のお医者さん

2歳児

写真部門



椅子を向かい合わせにして、2人でお医者さんごっこを楽しんでいると…

いつの間にか患者さんの後ろにもう一人お医者さんが来て診察を始めました。

よく見てください!

なんてことでしょう(笑)

もう一人お医者さんが!

それに気づいた2人は大笑い!

おいしゃさん
なんにんおんねん!!

と、ツッコんでいました!

患者に寄り添った病院だなーと思う担任なのでした。



タイトル:火山をつくろう

4歳児

写真部門

12月上旬、園庭での砂場遊びの一場面。M児が砂山を作ったことを振り返りで話したところ、Y児が「火山にしたら?」との新たなアイデアを発信し共有しました。翌日の散歩で赤い落ち葉を拾い集める姿がありました。さらに翌日、園庭でM児が火山づくりを始め、保育者も一緒に遊びに入り、他児も遊びに加わってきました。

拾ってきた落ち葉を砂山に並べていく子ども達の側に熊手がありました。初めて見る道具に興味津々で、保育者が道具の使い方を伝えながら園庭の桜の木の下落ち葉を集めてみせると、「やりたい!!」と目を輝かせながら「かしてー」のやりとりや「こっちにいっぱいあるで!」と話しながら熊手で赤い落ち葉をかき集めていました。



赤い落ち葉が集まったら夢中になっていた熊手を置いてすぐに砂場へ。火山づくりへの熱は冷めておらず、協力しながら集めた赤い落ち葉をつけていき、さら砂を葉っぱにかけて「パラパラなってる!」「本間に燃えてる音に聞こえる!!」と想像をふくらませていました。何日もかけて火山を完成させた力作です。

♡発見や気づき、面白さに
保育者が気づかされました。



タイトル:プールいっぱい

4歳児

写真部門



●プールの共同画中の子どもたちの会話

「プールって、いつもギュ〜ギュ〜やもんなあ〜」

「そうやで〜いつもギュ〜ギュ〜!!」

「いっぱいやなあ〜」

タイトル:次こそ勝つぞ~!

5歳児

写真部門

Sorastagra
そらぐみ



♡ 🔍 ▾ 📌

実は今でも諦めてない
健康な心と身体
協同性

運動会のクラス対抗リレーでなかなか勝てずに悔しい思いをしたそら組の子どもたち。

運動会が終わった後も、楽しみながら「今度は勝つぞ!」と練習している姿を、SNS 風に保護者に紹介しました。

タイトル:「ごめんね・・・」

2歳児

写真部門



友だちとのかかわりが多くなる2歳児。いつも仲良く遊んでいる2人ですが、やりたい気持ちが強くなり過ぎると「私が使うの!」「貸したれへん!」などストレートに思いをぶつけてしまうことも…。でも、友だちの表情と涙を見てハッと気づくこともあります。友だちの涙に触れ、相手の気持ちを知った瞬間です。言葉はありませんが「ごめんね」という声が聞こえたような気がしました。

この後、長い沈黙が続きましたがそばを離れなかった2人。「また一緒に遊びたい」という思いが通じ合ったようで、玩具を譲り合い一緒に遊び始めました。

私のおばあちゃんが
来てくれるって言ってたよ!



早く来てほしいな~

おじいちゃん
いつ来てくれるの?

敬老の日のついでで大好きなおじいちゃん、おばあちゃんに肩たたきをプレゼントすることにしました。音楽をかけるとみんなで列になり、肩たたきの練習が始まります。「気持ちいい?」「早くおばあちゃん来てほしいな~」と園行事を楽しみにする子どもたちです。



自然は子どもたちにたくさんの驚きと発見をもたらしてくれます。私たち保育者は、自然と子どもたちをどのように出会わせようかと考えながら保育に取り組んでいます。

本園のホームページ「保育と自然」では、子どもたちが出会った様々な自然や季節を感じられるものを写真で紹介しています。

タイトル:秋の気配を楽しんでいます

0歳児

写真部門

乳児園庭に植えられているキンモクセイの木。子どもの視界が広がり、今まで下を向いて遊んでいたのが、飛行機やヘリコプターの音がすると上を向いて指をさすようになりました。その時にキンモクセイが咲いていることに気づいた子どもたち。指をさして保育者に知らせてくれました。抱っこして近くで見えるようにすると、なんとなく匂いを嗅いでいます。少し枝を切って、みんなにも見せてみると、鼻に近づけて匂いを嗅ぐ仕草をします。子どもたちなりに花からいい匂いがするのを感じているようです。



これなんだろう?
いいにおいがする

タイトル:ひたすら我慢!!

5歳児

写真部門

夏、こども園の前にある公園で蝉取りや、公園内の小川でヌマエビ取りを楽しんでいた。

ある日、ザリガニもいることを発見した子どもたち。「ザリガニも捕まえたい!」と、自分たちで竿を作ってザリガニ釣りをすることになった。「もっと糸長くせなあかんで!」「黒いするめの方がよく食べたよ!」「前はここで釣れたで」など子ども同士で教え合いながら繰り返し楽しんでいた。



待つこと20分...やっとエサに食いついた!!

まだあかん...
ゆっくり、ゆっくり...

あっ!
食べた!!

そーっと
ひっぱるねんで





飼育ケースの中に入れて飼っていたバッタに興味津々の子どもたち。せっかくなのでもっと『見て・触れて』を存分に楽しめるように保育室にバッタを放してみました。

バッタの周りに子どもたちが集まります。バッタが『ぴよーん!』と飛んでいくと一生懸命バッタの後ろを追って、子どもたちも移動する姿がなんとも可愛いです♡



やってみると発見も!

『戸外よりもバッタを観察しやすい』

芝生や草むらでバッタを見つけることが多いですが、バッタの色と似ているのでせっかくだけ見つけても子どもたちは「あれ?いない…」と触る前にバッタを見失ってしまうことが多かったのです。

室内では1歳児の子どもでも簡単に目で追えました。距離をとりながら自分のペースでじっくりとバッタの動きを見ることができ、次第に手を伸ばして触ってみようとする子どもも出てきました。「やっぱりこわいわ」と手を引っ込めたり、もう1回そーっと触ろうとしたりを繰り返していました。



せんせーい
みてー!

すごーい!
触れたね♡



Aちゃん「お顔見せて〜♪♪♪」
Bくん「ふふふ(なんか照れるなあ)」
Cくん(嬉しそうにニコニコ)

虫眼鏡を使って、お互いに顔を見合って遊んでいたAちゃんとBくん。

楽しそうな雰囲気に誘われ、ふらっと現れたCくんは2人と同じように寝転んで嬉しそうにニコニコ♪

入園して1カ月ほどが経ち、園生活に少し慣れてきた頃のほっこりな一コマです♪

タイトル:大好きなお友だち♪

3歳児

写真部門



大好きな友だちと目が合い、「楽しいね♪」

1学期は1人遊びをする事が多かった子どもたち。

好きな遊びやお気に入りの玩具を通してかかわり始めると、自然と会話をするようになりました。

2学期になりだんだんと友だちの輪が広がり、やりとりを楽しむ姿が増えてきた時期のかわいい一コマです♪

タイトル:いないいないばあっ!

0歳児

写真部門

あれ?どこ?

いないないばあ...



ばあっ!!



きゃはははっ♡

保育者と遊んだり、1人遊びをしたり、段階を経て友だちとのかかわりが増えてきています。今は追いかけてこや隠れて「いないいないばあ」をして遊ぶことが楽しい子どもたちです。友だちとのかかわりで自然と笑顔が溢れ、見ているこちらまで笑顔になるほっこりする一場面です。